

人と魚と海のネットワーク  
香川県漁連ホームページ  
http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/



**JF** 高松市北浜町8-25  
TEL 087-825-0350  
FAX 087-851-0699  
JF香川漁連

## 我が家のイリコ料理コンテスト入賞者発表

さぬき海の幸(ハマチ・ノリ・イリコ)販売促進実行委員会と県内のイリコ生産団体(仁尾漁協、観音寺漁協、伊吹漁協、香川県漁協女性部連合会)では、県産イリコの消費拡大と食材としての価値を高めるため、2つのテーマを設け、新鮮で普及性のある家庭向け調理アイデア「我が家のイリコ料理コンテスト」の作品募集を実施した。

合計100点(【イリコメニュー】一般の部26点、学生の部57点、【創作イリコ飯】17点)の応募があり、昨年12月15日、料理専門家による一次審査(書類審査)の結果、入賞作品12点が選定され、この12点から、各賞受賞作品を決める最終審査会が去る1月24日(日)13:00より香川県漁連漁業研修センター2階調理実習室にて開催された。

主催者を代表して服部県漁連会長の挨拶後、学生の部と一般の部に分かれて約1時間で調理を行い、審査員は調理過程を見ながら、味や独創性をチェックし、気になった点を質問していた。また、応募者たちは出来上がった完成料理を手に緊張した面持ちで作品をPRしていた。

入賞作品は県のホームページで紹介し、イリコを使ったレシピ集を作成する予定。

最終審査審査員 9名(順不同、敬称略)

久保弘子 久保料理学院院長 審査委員長 服部郁弘 香川県漁業協同組合連合会代表理事長  
宮城公子 香川の食を考える会会長 高田雅夫 観音寺海産物問屋組合会長  
大平保利 仁尾漁業協同組合長 白川久芳 観音寺漁業協同組合長  
富山晴良 伊吹漁業協同組合長 岡田和子 香川県漁協女性部連合会会長  
西原義一 香川県農政水産部部長

### 「我が家のイリコ料理コンテスト」受賞作品一覧

	テーマ別	部門別	作品別	住所又は 在籍学校名	氏名
優 勝	イリコメニュー	学生	いりこマフィン	石田高校	笠井麻里百
		一般	前菜 赤ワインで変わる大羽にぼし	高松市	池内照美
	創作イリコ飯	—	イリコのかき揚げ丼	香川短大	永田由美
準 優 勝	イリコメニュー	学生	いりこ梅煮のさぬきかき揚げ	笠田高校	吉田千織
		一般	いりことれんこんのハンバーグ	高松市	永岡彩子
	創作イリコ飯	—	シメスコリイ	善通寺市	犬飼直美
優 秀 賞	イリコメニュー	学生	いりこのスティックフライ (仁尾町漁業協同組合長賞贈呈)	笠田高校	白井美帆
			イリコとかぼちゃの煮物 (香川県漁協女性部連合会会長賞贈呈)	高松南高校	宮脇優希
		一般	おしゃれオードブル・大羽にぼし (伊吹漁業協同組合長賞贈呈)	高松市	高岸マリアファティマ
			イリコの子リソース煮 (観音寺漁業協同組合長賞贈呈)	綾川町	岡田玲子
	創作イリコ飯	—	カルシウムたっぷりイリコ味噌	高松市	田中久代
		イリコチャーハン	笠田高校	松本 栞	

# おさかな通信

## 《京阪神地域キャラバン》

12月3日～12月6日までの4日間京阪神キャラバンへ行きました。初日は、配布物・会場の準備です。翌日に大阪市中央市場で行われる懇談会の会場には、一面にハマチ3兄弟の旗やポスター、海苔・伊吹イリコ・直島の瀬戸内国際芸術祭のポスターが揃い香川空間ができあがりました。そして2日目は、早朝より香川ブランドハマチ3兄弟の試食会を大阪市場内で行い、それぞれの味の違いを市場の方々に味わっていただきました。その後ジャスコ洛南店で出世鍋等の試食会を行い、17時より真鍋県知事の挨拶と私たちから香川の海の幸についての紹介の後、焼き海苔・伊吹イリコの配布を行いました。海苔はご飯のお供として、イリコはそのままでもだしをとっても良しと日本食には欠かせない食材です。ビタミン・ミネラル・食物繊維・カルシウム摂取の為に活用していただきたいと思えます。



### 県産品のPRをする真鍋県知事

3日目・4日目は、ジャスコりんくう店・北花田店・鶴見店・大日店でオーリーブハマチの試食会を行いました。香川が誇るブランドハマチの三男オーリーブハマチをまずは知っていただき、そしてその美味しさを味わっていただきたいという気持ちで多くのお客様に接することができました。

### 《シンガポールフェア》

12月11日～15日までシンガポールフェアへ行きました。シンガポールでは日本食がブームになっており、デパート・量販店では日本食のコーナーが大きく設けられていました。大型量販店での試食販売ではシンガポールの方々の食に合わせ、ハマチの細

巻きの天ぷらなど日本では馴染みのない食べ方での試食提供でしたが、スナック菓子かわりに好んで食べてもらうことができました。また、「フリーギフト寿司海苔!」として焼き海苔の配布も行い、国内にとどまらず、海外の方にも自信を持って香川の海の幸をPRしてまいりました。



## JFグループの新運動方針説明会 並びに税務説明会開催

1月25日(月)午後1時漁連会館6階大会議室において、漁協関係者約100名が参集しJFグループの新運動方針の説明会並びに税務説明会が開催された。

JFグループの2010年～2014年度新運動方針について全漁連長屋常務から協同組合のあり方とJFの将来ビジョン等について、杉田JF経営指導支援室室長から事業改革へ向けた取組みで将来シミュレーション作成等について説明があった。

説明事項は下記のとおり。

- (1) 水産政策における重要課題について
- (2) 新運動方針「JFグループ組織・経営・事業戦略(2010～2014年度)」について
- (3) 新運動方針にかかるアクションプランについて
- (4) その他

続いて、海難事故未然防止のため岡田女性部会長よりライフジャケット着用推進運動について説明された。

税務説明会では、所得申告、法人税申告、消費税申告を控えたこの時期に毎年開催されており、漁連吉田副調査役、富田税務顧問、県水産課北尾副主幹から下記の項目について説明された。

- (1) 個人業者の申告について
- (2) 漁協の申告書等作成上の留意点
- (3) 確定申告について
- (4) その他
  - ①資格審査について